

日進、太陽光発電を来月開始 年間売電866万円見込む

遊技機関連機器販売業の日進（みどり市笠懸町、山本豊社長）は倉庫2棟の屋根部分約2,200平方メートルを活用してソーラーパネルを設置し、太陽光発電に乗り出す。既に着工しており2月中には工事を完了。3月中に発電を開始する予定だ。

同社は昨年7月、日照条件のよさを生かした太陽光発電の是非を検討。調査の結果、日中は常時発電が可能であることが分かり実施を決めた。

倉庫の屋根に952枚のパネルを敷き詰める。総工費は8,600万円。合計出力は228.48キロワット。年間の平均発電量は20万6,373キロワット時を見込む。発電した電力はすべて東京電力に売却し、年間の平均売電額は866万円になる見通し。

山本社長は「震災後に計画停電や原発事故があり、何かできることはないかと考えていた。原発が稼働せず、円安の進行でエネルギー価格にも影響が出始めている。少しでも役に立てれば」と話している。



《2013年2月16日(土)夕刊 桐生タイムス》